



カナヘビ飼育中

ただいまカナヘビ飼育中。60年の人生の中で初の経験です。今年の夏の行事である「身近な生きもの甲子園」。職員たちが身の回りにいる生き物を展示するもので、その話を家でしたら、ある日妻が「こんなん捕まえたよ」と虫かごを差し出してきました。中を見るとカナチョロくんが1匹。庭仕事の最中、スパッと捕まえたそうです。結構すばしこいのでよく捕まえられたな、と思うんですが、まあじゃあ飼って甲子園に参加してみるか、と。最初は軽い気持ちで考えていました。いざとなれば、隣の遊園地で仕事してる弟が昆虫飼育に長けているので、面倒くさくなったら頼んじゃおう、と思ってましたので……。ところがちょっと話してみると、いやいやいや、ムリムリムリ、と。ヘビが大嫌いなのは知っていたんですが、カナヘビも？足あるんじゃないか。で結局自分の仕事と割り切り、初の経験なのでいろいろ調べながら飼うことにしました。また私が飼育していることを知った飼育員が、「こんなん捕まえました」といって妻のより大きいカナヘビを持ってきたので2匹まとめて飼うことに。



《妻のカナヘビ》



《飼育員のカナヘビ》

折角飼うんだからと少し大きめのプラケースに土を入れ、日光浴ができるように石や枯葉を置き、少し草も植えてみました。あとは餌です。カナヘビは生きてる虫たちを食べます。中でもクモやコオロギがお気に入りとのこと。コオロギなら家の小さい畑に結構います。そこでまずはコオロギ捕まえ。これが朝起きての日課となりました。カナヘビには毎日与えなくてもいいんですが、一応とれなくなった時のストックとしても捕まえています。なのでコオロギだけ別のプラケースで飼育することに。こっちもそれらしく草を植え石を置き枯葉やミズゴケなどミニ庭園風にしました。餌も野菜やリンゴのほか金魚のえさをすりつぶして与えています。もしここで繁殖してくれればそれもいいな、と。すると次第に変な感情がわいてきました。大事に育てたやつを隣のプラケースに？うーん、確かにこの手の問題は生き物を飼育すると必ず突き当たるわけではありますが、まあね、と言って誤魔化すことに。



《食事中的コオロギ》

先日、初めて食事風景を目にしました。普段冷房の効いた部屋に置いておくとあまり活発ではないのですが、定期的に外で日光浴させたときのこと。いきなり、ケースの中がバタバタと騒々しくなりました。なんだなんだとケースを除くとカナチョロくんはコオロギの頭のほうを咥え、ガブツ、ガブツ、ガブツと何回かに分けて食べていたのです。さすがに口より大きい獲物を一気にとはいかないようです。すでに飼育して1か月になりますが初めて見た光景、それなりにミニマムショッピングではありました。また、カナヘビの脱皮殻も初めて見ました。さあ、来月からの「身近な生き物甲子園」。当分カナヘビとコオロギの飼育が続きます。



《脱皮のあと》



《コオロギ(左)とカナヘビ》

2016年7月27日

祝！開園2000万人達成

本日（7/10）、かみね動物園が昭和32年(1957年)に開園して以来、入園者数が2000万人を突破しました。2000万人目の記念すべきお客様は、那珂市からお越しの鈴木りりあちゃん。お父さん、お母さん、お兄ちゃんの4人家族で見えられ、クス玉割りや2000万人達成の認定書授与など記念のセレモニーを行いました。マスコミも駆けつけ、突然時の人となったりりあちゃん、ご家族そろってビックリされてました。セレモニーを終え囲み取材を受けたあとは、興奮しながらもプレゼントされたカピバラのぬいぐるみを小脇に抱え、りりあちゃんたちは動物園へと消えていきました。



《鈴木さんご一家(中央)と職員》

当園では、100万人単位でこうした記念セレモニーを行っています。前回1900万人目を数えたのが平成25年(2013年)6月8日。ほぼ3年刻みの間隔で100万人達成をやっていますが、数のキレイがいいのでこの施設でもこうしたセレモニーは行っていると思います。当園でもほぼ3年ごとに栄えある認定書を差し上げていますが、一人ひとりのお客様の積み上げが数字を達成するわけで、鈴木様ご家族はもちろん、これまでいらした2000万人すべてのお客様に改めて感謝申し上げる次第です。



《認定書授与》

これからも3年ごととは言わず、少しでもその間隔が短くなっていけるようさらにたくさんのお客様に楽しんでもらえる動物園を目指していきたいと思えます。

2016年7月10日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)